

感染拡大防止に係る

4者(県、市、県医師会、大学病院)合同記者会見

本市では、4月中旬以降、新型コロナウイルス感染症の感染者が増加の一途をたどり、4月は月別で過去最多の123例、5月に入ってから昨日まで98例の陽性が判明し、急激な感染の拡大に強い危機感を感じているところであります。

こうした状況を受け、このたび、県では独自の感染警戒レベルを「3」から「4」に引き上げたところであり、私としても、市内における感染拡大防止のため、今まで以上に、市民一人ひとりの自覚と行動を促していく必要性を感じております。

政府が示している、医療提供体制と感染状況にかかる各指標を、本市の現状にあてはめてみますと、5月9日現在、確保病床の使用率は57.7%とステージ4に該当しておりますが、療養者数と直近1週間の陽性者数についてはステージ3相当、感染経路不明な者の割合と重症者はステージ2以下となっております。

こうしたことから、現在、本市はステージ3からステージ4の中間ぐらいにあると考えており、今ここで感染拡大を抑止しなければならないものと、強く認識しております。

先ほど知事からもご発言がありましたが、感染拡大防止に向けた市民や事業者への呼びかけとともに重要なのは、地域医療体制の確保であります。県では、関係病院に入院病床のさらなる確保を要請していただいておりますが、受け入れる側の病院としては、入院病床の用意や維持にかかる経費や、必要な医療スタッフの確保にも相当の経費がかかることから、行政の財政的な支援が欠かせないと考えており、引き続き、県からのさらなる財政支援をお願いしたいと思います。

また、川反・大町地区の飲食店で発生した面的クラスターへの対策として、県のご理解とご協力をいただき、飲食店従業員への無料PCR検査キットの配布を速やかに開始することができました。昨日までに、店舗数として324店舗、対象者数として1,636人にキットを配布し、このうち163店舗、人数にして578人の検体を回収いたしました。

その検査結果であります。現在のところ354件の検査を終え、1件の陽性が確定しております。なお、この陽性事例については、本日夕方に公表する予定であります。今回の無料PCR検査で早期に陽性者を発見できたことは、川反・大町地区における、さらなる感染拡大の未然防止に一定の効果があつたと考えており、本日の市の臨時議会で予算議決をいただき、今後、この取り組みを本格化させ、キットの配布を18日まで、検体の回収を22日まで行い、24日までには、回収した検体の検査を完了したいと考えております。

最近の陽性者の傾向を見ますと、保育施設や介護施設など、多くの方と接する機会のある職種に感染が広がっていることから、こうした施設において早期に陽性者を発見し、感染拡大を未然に防ぐため、抗原検査キットの配布を検討しているところであり、これについても県のご協力を得ながら、現在、市内の希望する保育施設等の職員約3,300人への配布を、さらに市独自に、市立小・中・高等学校の教職員約2,300人への配布を検討しております。具体的な配布方法や時期については、現在、各施設の状況を調査しているところであり、準備が整い次第、速やかに配布したいと考えております。また、コロナ対策の切り札と言われているワクチン接種について、本市では5月8日から高齢者を対象とした集団接種を開始し、12日からは会場を12か所に増やして、ワクチン接種を本格化させてまいります。

こうした中、国では、7月末までに高齢者への接種を完了するとの目標を掲げておりますが、そのためには、接種に従事する医療関係者の確保が課題となりますので、より多くの方へ早期のワクチン接種を可能とするため、引き続き県と県医師会のご理解、ご協力をお願いいたします。

最後に、市民の皆様には、マスクの着用や手洗いといった基本的な感染対策を今一度徹底していただくことが、ご自身はもとより、大切な人の命を守ることに繋がります。家庭や職場、学校などでの感染リスクを減らすための行動をしっかりと実践してくださるよう、重ねてお願いいたします。